



February 2011

# Newsletter

第8号

工学系技術部広報誌

平成23年2月1日発行

## 2010 ぐんだいで遊ぼう！「ものづくり体験・おもしろ探検」

私達は群馬大学技術職員として地域の小学生に科学をする心を育てようとイベントを企画して今年で6年目に入ります。今年度は8月19日に実施することができました。

小学校4～6年生を対象に桐生市、みどり市の小学校へ5000枚近いパンフレットを配布し募集を行いました。

地域貢献委員会のメンバーを中心とする「ぐんだいで遊ぼう実行委員会」として企画、募集や会場設定、また資金の調達、教育委員会との交渉などを通じて骨子を固めるなど運営に関するノウハウも蓄積され年々スムーズに進む事ができるようになりました。

さらに、技術職員全員の協力で行う数少ないイベントとして、しっかりと根付いたと思われまます。

今年度の演目としましては①身近の科学 ②たまねぎで染めよう！ ③ホバークラフトをつくろう ④ペットボトルロケットを飛ばそう ⑤パソコンの分解と組み立て体験 ⑥手作りモーターに挑戦！ の6テーマを設定しました。

また、今年も募集人数を越える応募があり、科学に興味を持つ子供がいる手ごたえを感じました。

しかし、この事に満足せず工学部である基盤を生かして技術職員として、より子供達に興味を持たれ科学する心が躍るような企画を考えて行きたいと思います。

今回のイベントは子どもゆめ基金助成活動（独立行政法人国立青少年教育振興機構）であります。財団法人群馬大学科学技術振興会、桐生市教育委員会、みどり市教育委員会、日本機械学会群馬ブロック、工学クラブから後援をいただくことができたことに感謝いたします。（石川）



## 第9回群馬大学工学系技術部技術発表会を開催

今回で9回目となる工学系技術部の技術発表会を去る9月9日（木）に開催いたしました。

工学系の技術職員・技術補佐員・教員だけでなく本学事務局や医学部技術職員・近隣の各機関などの参加者を合わせて参加人数は延べ75名の参加を得、特に本年度は一昨年に引き続き、群馬高専より技術発表をいただき盛況の内に執り行うことが出来ました。

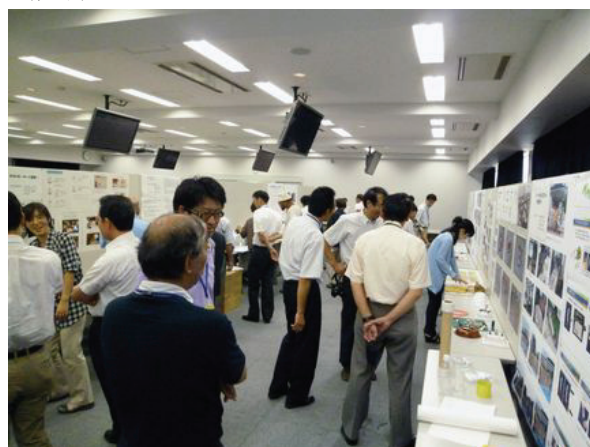
技術関連発表では研究発表や技術部内の研究会からの報告だけでなく、学科業務や安全衛生・地域貢献に関するものなど昨今の技術職員の職務の多様性を現すように様々な分野の発表が行なわれ、積極的な質疑応答が展開されました。

特別講演では本学環境プロセス工学専攻 尾崎教授および機械工学専攻 天谷教授に快諾していただき、尾崎教授には「カーボン材料を用いた低炭素社会の構築 ～群馬大学発のカーボンアロイ燃料電池触媒を中心に～」という演題で、天谷教授には「地域に根ざした脱温暖化の取り組みについて」という演題でご講演いただきました。

発表会後に行われた懇親会には48名の参加があり、

発表内容についての更なる意見交換や日常業務のこと、さまざまな悩みなどを話題として参加者相互の親睦を深めることが出来ました。

最後に、本発表会の開催にあたってご協力いただいた全ての方に厚く御礼申し上げますとともに、次回もより有意義な発表会となるように委員会一同尽力したいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。（竹下）



## 科研費奨励研究申請を勉強

科研費の一つである奨励研究は、大学職員や小中高の教員を対象とした数少ない研究助成である。技術部研修委員会では、技術職員を対象に応募拡大と採択増を目指して、申請の為の勉強会を開催した。11月17日（水）、技術部室に於いて、自由参加で集まった8名が1時間ほどの受講と討論を行った。

勉強会は、過去数回の採択経験を持つ研究推進支援センターの中澤剛職員を講師に、研究課題の見つけどころや採択のためのノウハウが経験談を交えて講義された。また、実際の申請書類をもとに具体的な記入例が示され、参加した職員には目から鱗の情報が得られ、大変有意義な勉強会となった。研修委員会では、来年

度へ向けた応募拡大と採択増を期待している。（野口）



## 「他大学技術発表会等参加報告会」を開催

去る10月14日（木）の昼休み時間を利用し、総研棟301室に於いて、技術部研修委員会と安全衛生グループ共催による標題の報告会を開催した。これは、本年度上半期に行われた全国規模の技術研究会や安全衛生に関する分科会等に参加して得られた情報を、技術職員が共有することを目的として開催されたものである。技術職員の7割にあたる27名の参加があり、関心の高さが窺える報告会であった。

報告内容は以下の6件である。

- |                    |         |            |
|--------------------|---------|------------|
| ①大学等環境安全協議会分科会（札幌） | 7/29-31 | 小林、薊、木間（富） |
| ②化学安全スクーリング        | 8/9-10  | 川村         |
| ③機器・分析技術研究会（東工大）   | 9/2-3   | 竹下、池田、中川   |
| ④茨城大学工学部技術部研修会     | 9/3     | 藤田、伊田      |
| ⑤東大工学部技術発表会        | 9/30    | 野口、金井      |
| ⑥全国産業安全衛生大会（福岡）    | 10/6-8  | 横尾、近藤      |



数多くのスライドや写真が示され、報告者は、出張先の発表会だけでなく、施設見学や懇親会参加等を通して、積極的に他大学技術部の現状把握や情報収集に努めている様子が窺えた。

印象的だったのは、大環協分科会の「使用済み乾電池のリサイクルシステム」と「旭山動物園ペンギン舎水処理システム」の見学の様子である。リサイクルによる水銀生産量は余りあり、輸出を検討しているとのことである。また、人気の旭山動物園の管理システムが紹介され、施設の裏側を垣間見ることができた。

（野口）



お気軽にご利用ください

# 技術相談窓口



<http://www.tsk.gunma-u.ac.jp/~gyomu/soudan/>